

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		健康になる事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	財津 公正
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	久保園 郁子
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	2162
予算科目	会計一般	款4	項1	目4	事業連番11575	法令根拠	健康増進法	成果優先度評価結果	①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果: ②			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	生活習慣の多様化により、生活習慣病(肥満症・高血圧症・糖尿病・脂質異常症等)の有病率が増加している。これらが重複した状態となり、重症化して脳血管疾患、虚血性心疾患、腎不全の原因となっている。そしてこのことが医療や介護に係る予算の高騰につながっている。この現状を改善するため、疾病の発症予防と重症化予防という視点から ①生活習慣病対策の教室実施 ②地域の身近な場所で継続して健康づくりを実践できるような拠点地区での教室実施 ③行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの育成 ④職員が地域に出向いて健康教育を行なう出前講座 ⑤健康づくりの必要性について考える機会として健康づくり講演会の実施等を主な事業として行なっている。
【業務の流れ】	1. こうし健康塾(生活習慣病対策のための教室) ①現状把握・分析 ②教室内容の企画 ③委託先との契約 ④委託業者との打ち合わせ ⑤参加者の募集 ⑥実施 ⑦評価 2. 健康づくり拠点地区事業 ①委託先の選定・契約 ②拠点地区の選定 ③委託業者との打ち合わせ ④参加者の募集 ⑤実施 ⑥評価 ⑦教室サポーターの養成 ⑧自主活動フォローアップの実施 3. 健康づくり推進員養成講座 ①講座の企画 ②参加者の募集 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤推進員の委嘱 ⑥健康づくりボランティア活動の開始 ⑦登録推進員の学習会を実施 4. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 5. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価
【主な予算費目】	8. 報償費 13. 委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。 ・市民からは、健康づくりに関する事業が増えて参加しやすくなった、定期的に教室を行ない健康づくりを継続できる環境をつくってほしい、教室に参加することで健康づくりに取り組むきっかけをつかめた、血液データが改善したとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	事業の継続 ・健康ステーションサポーターのフォローアップ研修を実施し、各ステーションの活性化、フォローを行う。 ・こうし健康塾のプログラムの再検討をする。 ・特定健診結果から、要治療域であるが、治療していない人を対象に結果を手渡しし、直接説明を行う。 ・健康づくり推進員の活動の活性化(学習会で役割の活性化)
・健診結果などで数値の改善が必要であった市民に対して健康増進教室と病態別教室を全8教室実施した。特に、血糖、脂質異常症の教室では、定員を2~3倍上回る希望者がいた。また、内容も好評であった。 ・野々島地区と須磨地区を拠点地区に選定し教室を実施した。 ・健康づくり推進員養成講座の第2期を実施。また、第1期を修了し登録した人をボランティアの担い手となるよう、定期的に学習会を開催した。 ・依頼を受けて、健康教育出前講座を実施した。 ・健康づくり講演会を開催した。(再発症研修との共催2回など)	予算の主な増減の理由 ・非常勤管理栄養士の乳幼児健診事業からの移管による報酬の増及びウエストサイズ大作戦のサポーター育成やWEB化などによる委託料の増。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回
→ ア: 教室の実施回数	人
→ イ: 参加者数	(単位) %
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	→ ア: 市民の数(人口)
→ イ:	%
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市民が健康づくりに関心を持つ。自分の健康を保持増進できるよう行動できる。	→ ア: 栄養のバランスを考えて食事を摂っている市民
→ イ: 病気の予防のため運動をしている市民	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2期基本計画に基づき設定している。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	23年度	24年度	25年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回	0	88	100	98	100	100	100	100
	イ 人	0	2,010	650	3,188	1,000	1,500	1,500	1,500
② 対象指標	ア %	0	57,367	57,377	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429
	イ %	0	54.4	47	51.4	48.5	50	50	50
③ 成果指標	ア %	0	88	87	89.1	87	87	87	87
	イ %	0	54.4	47	51.4	48.5	50	50	50
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円		4,042					
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		2,946	6,210	6,018	7,000	7,000	7,000
	(A) 事業費計	千円	0	6,988	6,210	6,018	0	7,000	7,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	325	258	216	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	304	248	216	0	0	0
	人件費	千円	0	14,272	12,213	9,589	12,213	8,142	8,142
正社員従事人数	人	0	4	3	4	3	3	3	
延べ業務時間	時間	0	3,506	3,000	2,407	3,000	2,000	2,000	
(B) 人件費計	千円	0	14,272	12,213	9,589	12,213	8,142	8,142	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	21,260	18,423	15,607	12,213	15,142	15,142	

事務事業名	健康になろう事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 教室への参加者も増え、生活習慣病対策のための教室参加者から健康づくり推進員講座へ参加される方が見られるなどの事業の波及効果も見られた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 教室の内容の検討を行うことで、生活習慣病を改善してほしい方に対して効果的に事業を行うことができるため。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 健康ステーションサポーター養成講座など内容次第では、高齢者支援課との連携の可能性も考えられる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 健康ステーションなど市が行っていた役割を健康ステーションサポーターに一部担っていただくなど役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>参加者が多く、健康を考える機会や行動の変容につながることもできた。肥満症が改善したり、血液検査の結果が改善した人もいた。 また、市民同士の口コミで、参加の増加、教室への関心は高まっている。</p>

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						